

おばま 市議会だより

No. 157



9月定例会の概要…………… P2
市政を問う！一般質問…………… P8
議会報告会を開催します…………… P12

議長就任のごあいさつ



第48代 議長
ふじた よしひら
藤田 善平
(69歳・羽賀)

このたび、第48代小浜市議会議長に就任いたしました藤田善平でございます。議長就任にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

さて、急激な人口減少、少子高齢化社会の到来により、本市においても、中心市街地の空洞化、農村地域の過疎化などが進んでおり、地域の活性化が喫緊の課題となっております。

また、今後老朽化する公共施設のスクラップアンドビルドに対する財源の確保も懸案事項の一つとなっております。

そのような中で、長年、夢を描いてきました北陸新幹線小浜・京都ルートが決定したことは大きな喜びであり、今後、市民の皆様のご意見をお聞きし、本市の発展の切り札となります。新幹線を見据えたまちづくり構想を早急に練り上げていく必要があると考えています。

今後とも、議会報告会をはじめ、さまざまな機会を通じ、幅広くご意見をお伺いし、市民に開かれた議会となるよう努めてまいりますので、市民の皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

9月定例会の概要

平成30年第3回定例会が、8月27日から10月10日まで45日間の会期で行われました。

今定例会では平成29年度各会計の決算認定、地方公共団体の健全化判断比率と資金不足比率の報告、平成30年度各会計の補正予算や条例などの議案を慎重に審査しました。

また、閉会日に下中雅之議員の議長辞職によって議長選挙が行われ、藤田善平議員が当選しました。これに伴い各委員会などの構成が変更されました。

める条例の一部改正について

賛成全員で可決

◆小浜市介護保険条例の一部改正について

賛成全員で可決

◆小浜市水産業活性化拠点施設の設置および管理に関する条例の制定について

賛成全員で可決

◆小浜市放課後児童クラブ条例の制定について

賛成全員で可決

陳情

◆地方財政の充実・強化を求める意見書採択について

賛成全員で採択

◆地方公務員法及び地方自治法の一部改正における新たな一般職非常勤職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書採択について

賛成全員で採択

◆小浜市都市計画税条例の一部改正について

賛成全員で可決

◆小浜市放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定

意見書

◆地方財政の充実・強化を求める意見書

賛成全員で可決

◆地方公務員法および地方自治法の一部改正における新たな一般職非常勤職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書

賛成全員で可決

人事案件

◆公平委員会委員の選任について（霜中克文氏）

◆公平委員会委員の選任について（小畑清美氏）

◆人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（赤坂修代氏）

◆人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（仲井宗男氏）

◆人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（田邊重正氏）

◆人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（田邊重正氏）

◆人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（田邊重正氏）

◆人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（田邊重正氏）

◆人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（田邊重正氏）

◆人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（田邊重正氏）

いずれも賛成全員で同意

【可決した平成30年度補正予算】

会計名	既決予算額	9月補正額	合計
一般会計	162億 1,697万円	1億 7,924万円	163億 9,620万円
特別会計	88億 8,177万円	5,028万円	89億 3,205万円
企業会計	9億 1,102万円	813万円	9億 1,916万円
計	260億 976万円	2億 3,765万円	262億 4,741万円

※端数処理の関係で合計額が一致しないことがあります

平成 30 年第 3 回定例会採決結果

賛成全員で可決、同意した議案等

項目	件名
報告	地方公共団体の財政の健全化に関する法律における健全化判断比率の報告について
	地方公共団体の財政の健全化に関する法律における資金不足比率の報告について
予算	平成 30 年度小浜市一般会計補正予算（第 3 号）
	平成 30 年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号）
	平成 30 年度小浜市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）
	平成 30 年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）
	平成 30 年度小浜市簡易水道事業特別会計補正予算（第 1 号）
	平成 30 年度小浜市下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）
	平成 30 年度小浜市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 1 号）
	平成 30 年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計補正予算（第 1 号）
	平成 30 年度小浜市水道事業会計補正予算（第 1 号）
	平成 30 年度小浜市一般会計補正予算（第 4 号）
条例	小浜市市税条例等の一部改正について
	小浜市都市計画税条例の一部改正について
	小浜市放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例の一部改正について
	小浜市介護保険条例の一部改正について
	小浜市水産業活性化拠点施設の設置および管理に関する条例の制定について
	小浜市放課後児童クラブ条例の制定について
陳情	地方財政の充実・強化を求める意見書採択について
	地方公務員法及び地方自治法の一部改正における新たな一般職非常勤職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書採択について
意見書	地方財政の充実・強化を求める意見書
	地方公務員法および地方自治法の一部改正における新たな一般職非常勤職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書
人事	公平委員会委員の選任について（霜中克文氏）
	公平委員会委員の選任について（小畑清美氏）
	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（赤坂修代氏）
	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（仲井宗男氏）
決算	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（田邊重正氏）
	平成 29 年度小浜市一般会計歳入歳出決算の認定について
	平成 29 年度小浜市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	平成 29 年度小浜市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
	平成 29 年度小浜市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	平成 29 年度小浜市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	平成 29 年度小浜市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	平成 29 年度小浜市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	平成 29 年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	平成 29 年度小浜市加斗財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について
平成 29 年度小浜市水道事業会計決算の認定について	

議会を傍聴しませんか？

住所と氏名を書くだけで傍聴することができます。小浜市役所 5 階の議会事務局までお越しください。

次回定例会の日程

- 11月30日(金) 本会議
- 12月13日(木) 一般質問
- 12月14日(金) 一般質問
- 12月21日(金) 本会議

今月の表紙

若狭地方最大の秋まつり「放生祭」が9月15日(土)16日(日)の2日間にわたり行われました。八幡神社で奉納された神輿や大太鼓・神楽・獅子・山車^{やま}は、町衆の心意気によって受け継がれています。

議会構成の変更

議長交代等に伴い、議会構成が次のとおり変更になりました。

- 予算決算常任委員会 委員
藤田善平議員 → 下中雅之議員
- 北陸新幹線早期全線開業特別委員会 委員
藤田善平議員 → 下中雅之議員

- 【一部事務組合】
■ 福井県後期高齢者医療広域連合議会議員
下中雅之議員 → 藤田善平議員

委員会審査

予算決算常任委員会

◆放課後児童健全育成事業

1337万3000円

問 宮川、松永、遠敷の各児童クラブを集約するが、人件費などの予算削減効果が小さい理由は。

答 現状のサービス移行であれば約180万円の削減が見込めるが、土曜保育の実施など、サービスの拡充や人材確保のための職員の処遇改善などに充当する。

◆クリーンセンター施設管理経費

740万3000円

問 アルミの溶着防止に事前分別のための機械の導入は。

答 収集ごみは直接ごみピットに入るので、アルミを分別できない。可燃ごみは900度の高温で燃焼させるので、アルミの溶着はやむを得ず、機械導入は多額の費用がかかるため、修繕で対応していく。

◆日本遺産推進事業

213万7000円

問 旧古河屋別邸庭園修繕について、管理方法公開時期、今後の利活用は。

答 今回はこの県指定有形文化財の管理責任者となった。公開は座敷と庭園のみで、できるだけ早い時期に市内外の方々に公開したい。今後、駐車場の確保も含め、北前船に関する文化財として活用していきたい。

◆道路維持管理経費

2300万円

道路整備事業(単独) 3020万円

問 同じ市道なのに財源に違いがあるのは。

答 維持管理については基本的に起債が活用できないのが原則。道路の改良などの整備事業は対象になるので起債を充当する。

◆東部4小学校閉校事業

1366万円

問 各地区の記念誌編纂

んや名簿の作成に時間を要すると思うが、予算の繰越等の対応は。

答 基本的には会計年度内の執行をお願いしたいが、繰越も含め配慮していきたい。

◆大手橋架け替えに伴う下水道管布設替設計委託料

1525万9000円

問 布設替えに伴う設計の今後の計画は、また補償は出ないのか。

答 大手橋の仮歩道橋に上下水道管を添架するもので、道路計画に合わせ設計もしていかなばならないので、毎年設計費・工事費の計上が必要である。補償費は占用の条件として、道路改良等で移設になった場合は、占用者の負担になる。

総務民生常任委員会

◆議案第59号小浜市市税条例等の一部改正について

所得控除、公的年金控除が10万円引き下げられ基礎控除が同額引き上げられると、高額所得者や市の税収への影響は。

答 前年度の合計所得が、2400万円を超える所得者の控除額は通減・消滅されるが、それ以下の給与所得者、年金受給者の控除の合計額にはほとんど影響しない。税収への影響は、国の試算で0.4%、市の税収に換算すると約300万円の増収が予想される。

◆議案第60号小浜市都市計画税条例の一部改正について

説明 地方税法附則の条文の項ずれに伴う所要の改正。

◆議案第62号小浜市放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例の一部改正について

説明 放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する政令および学校教育法の一部を改正する法律の施行に伴う厚生労働省関係政令の整理等に関する政令が公布されたことに伴う所要の改正。

◆議案第63号小浜市介護保険条例の一部改正について

説明 介護保険法施行令の一部を改正する政令が公布されたことに伴う所要の改正。

◆議案第65号小浜市放課後児童クラブ条例の制定について

説明 平成31年4月の小浜美郷小学校開校に伴い、校内に新たに小浜美郷児童クラブ会館を設置することおよび市内児童クラブにおける放課後児童健全育成事業に関し必要な事項を定めるためのもの。

◆議案第66号小浜市地方債の充実・強化を求める意見書採択について

意見 地方自治体の努力で積み上げた財政調整基金を地方交付金の算定基準にするのは問題がある。

◆陳情第6号 地方財政の充実・強化を求める意見書採択について

意見 災害の復旧費等、国において100%保証する担保がない限り、財政調整基金の積み立ては不可欠である。



◆陳情第7号 地方公務員法及び地方自治法の一部改正における新たな一般非常勤職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書採択について

地方公務員法と地方自治法の一部改正法が成立し、会計年度任用職員制度が導入されたので、非常勤職員を法的に位置づける、また、非常勤職員と常勤職員との均等待遇を求めるのは当然である。

【意見】 2017年5月に

地方公務員法と地方自治法の一部改正法が成立し、会計年度任用職員制度が導入されたので、非常勤職員を法的に位置づける、また、非常勤職員と常勤職員との均等待遇を求めるのは当然である。

産業教育常任委員会

◆議案第64号 小浜市水産業活性化拠点施設の設置および管理に関する条例の制定について

【説明】 内外海地区活性化計画に基づく「小浜市水産業活性化拠点施設」の整備に伴う設置および管理に関する条例を制定するもの。

【問】 各施設の利用料金限

度額の算出根拠や、水産加工体験の内容は。

【答】 地域コミュニティ施設、地域コミュニティ広場については、小浜市の公の施設の使用条例に定められている使用料、水産加工体験施設は、同様の水産加工施設である若狭町みさぎ漁村体験施設の利用料金を参考に算出内容については、へしこ体験の場合、糠等に漬け込んだ後、当施設で保存し、1年後に体験者にお渡しする流れ。

【問】 指定管理者による管理を行うにあたり、各種目標数値が必要では。

【答】 当施設の整備には、国の農山漁村振興交付金を活用しており、国に提示している活性化計画目標等において、水産物の販売額、販売量、水産加工体験者数などの目標を定めている。

【意見】 当施設が地域の振興につながるよう、指定管理者の募集、選定を進めてほしい。

各振興協議会が開かれました

小浜市・若狭町・高島市 総合振興協議会

日程 平成30年7月13日(金)
場所 高島市

役員の改選があり、会長に今井伸治議員（小浜市）が選任されました。平成29年度事業報告及び収支決算報告、平成30年度事業計画（案）および収支予算（案）が原案どおり承認されました。会則の一部改正があり、本協議会の構成員数が各市町8名から6名となりました。



総会に先立ち、「観光における広域連携」と題して研修会があり、「オンラインワン」の価値と「ブランド力」等の講義が行われました。

小浜市・おおい町 総合振興協議会

日程 平成30年7月18日(水)
場所 小浜市

「北陸新幹線の早期全線整備」について福井県副知事山田賢一氏より「課題としては、公共事業費を755億円から、1,455億円に増額することは難しく、公共事業費以外の財源を増加させる必要がある。」との説明がありました。



小浜市・若狭町 総合振興協議会

日程 平成30年8月2日(水)
場所 若狭町

【現地視察】 福井県年縞博物館（若狭町鳥浜）平成30年9月15日オープン

【研修】 「交流人口及び関係人口の拡大に関する若狭町の取り組み」

若狭町総合戦略課課長より若狭町の人口減少に立ち向かう戦略についての説明があり、活発な意見交換がありました。



平成 29 年度決算を認定

一般会計

歳入 183 億 9,182 万 7,717 円
歳出 176 億 9,542 万 7,514 円

今定例会で、平成 29 年度の一般会計をはじめとする各会計の決算を認定するため、予算決算常任委員会に付託しました。さらに慎重に審査をするため、総務民生・産業教育それぞれの分科会に調査依頼し、質疑・討論を経て採決を行いました。

また、事業の進捗状況を確認するため、9月20日に管内視察を行いました。審査の結果は全会計とも認定することに決めました。

総務民生分科会

▼市税・不納欠損額

1846万6683円

問 不納欠損の対応状況は。

答 年3回の催告状の送付、実態調査、財産調査、差し押さえなどを行っている。

意見 滞納者に債務承認させ時効の中断を行い、できるだけ不納欠損を出さないようにすべき。

▼小浜市ふるさと寄附金

2億7795万円

問 費用対効果の面から3サイトに掲載する必要性は。

答 さとふる、楽天はふるさと納税に関しては大手であり、高島屋洛西店は、鯖街道に関係ある自治体の返礼品を取り扱っており、費用対効果も高い。

▼「おはまで暮らそう」事業

74万6795円

問 移住の実績と、移住体験者の感想は。

答 平成28年度7世帯17名、平成29年度は3世帯3名が移住を体験し、うち2名が移住。アンケートでは、もう少し田舎がよかったとか、地域の住民とかかわりを持ちたかったなどの意見があった。

▼ふるさと未来づくり協働推進事業

1750万8000円

問 来年度の協議会への交付金の算定方法は。

答 今年度から西津、国富地区がまちづくり協議会を立ち上げたばかりであるため、来年度も現在の算定方法での交付を考えている。

▼福井しあわせ元気国体準備事業

6644万3081円

問 若狭総合公園内の多目的休養施設の管理体制と、国体終了後の利活用を問う。

答 本施設は、市(都市整備課)が県の委託で管理しており、ビーチバレーボールをする場合は、国体・障害者スポーツ大会

推進課が無料でボールやアンテナを貸し出す。来年の国体から、ビーチバレーボールは高校生の競技となるため、休養施設、子ども遊び場だけでなく、ビーチバレーボールができる施設として、普及啓発に努めていく。

▼母子保健事業

2972万6437円

問 平成29年10月に導入した母子健康手帳アプリの登録状況は。

答 アプリのユーザー数は142名で、半数の方が毎日のように起動している。母子健康手帳の交付時と、乳幼児健診のときにアプリを紹介し普及を図っており、さまざまな情報を確認できて便利だ

という評価を得ている。

▼食のまちづくり推進事業

32万5740円

問 御食国大使に委嘱してから数年経過しているが、7名のうち本市のために活動している方はどれくらいいるのか。

答 御食国大使とは年々かわりも深まっている印象であり、食文化館開館15周年記念には、半数以上の大使から応援メッセージをいただいた。今後とも一般の観光大使以上のつながりを持つていきたい。

【決算審査の役割】

決算審査の重要な役割は、この審査が次年度の当初予算にいかん反映されるかということです。

審査での意見が、これから編成される平成31年度の当初予算にどのように活かされるかが期待されます。

産業教育分科会

▼水道水源開発施設整備事業
3208万2200円

問 河内川ダム建設事業に伴う負担金について、維持管理の考え方を問う。

答 福井県、若狭町、小浜市で維持管理協定を結び、協定に基づく負担割合で維持管理費を県に支払っていく。県から正式な提示はないが、来年度後半から維持管理費が発生し、また、何年かに一度の定期点検などによる負担も発生するのではないかと予測している。

▼農業用施設維持管理経費
1277万7558円

問 被害を及ぼす恐れのあるため池のハザードマップ作成費590万円について、作成基準、地域との協議やため池の管理方法を問う。

答 国のマニュアルを基準に、現地調査、氾濫解析を行い、関係者の聞き取りを踏まえ作成。管理方法

の説明もしている。

▼「鯖を愛するまち」

小浜・全国発信事業
1500万円

内容 鯖街道の魅力発信のため、連携協定を締結した鯖料理専門のアンテナ料理店開設整備費用等の一部を負担する事業。

問 事業計画の適正性、情報発信の効果は。

答 アンテナ料理店は公益に相当と認められる。負担金は契約により支払っており、法令上問題はなし。約4000尾のよっぱらいサバを使用したほか、鯖缶や若狭塗箸などのPRに努めている。

▼公園維持管理事業

2443万8653円

問 公園トイレの管理体制を問う。

答 委託業者は週2回清掃を実施。今後は、業者との意見交換などで、維持管理の向上に努めていきたい。

▼重点「道の駅」整備事業

2020万円

問 擁壁や路盤等の工事が終了しているが、運用開始まで、駐車場などに利用できないか。

答 イベント時の駐車場など有効利用を考えていきたい。

意見 ターミナル開設を見据えた有効利用を行い、観光客等の利便性向上につなげていただきたい。

▼小浜市空家対策事業

94万3823円

問 空き家対策の取組み状況は。

答 平成29年度は4件の特定空き家を所有者等に依頼し、順次解体を進めている。利用可能物件は、利活用を進めていきたい。

▼小学校施設維持補修費

900万6225円

問 各小学校の修繕の状況把握や要望の対応は。

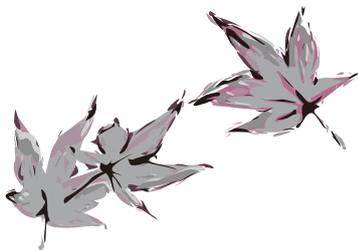
答 年度当初の各学校からの要望に基づき、職員が現地確認を実施。危険性の有無、重要性を確認し、優先順に順次対応している。

意見 暴風雨時には、吹き込み、雨漏り等により、授業に支障が出る学校もある。率先して、現場の状況把握をしてもらいたい。

▼浄化センター管理運営費
1億9208万
1596円

問 汚泥処理にかかる委託料と今後の委託業務の方針は。

答 業者の見積りにより金額を決定。今後も汚泥処理の運搬や水分量などを考慮し、県内処理業者への委託を考えている。



予算決算常任委員会で管内視察を実施

日時 平成30年9月20日(木)

平成29年度決算審査の一環として、市内4カ所の管内視察を実施しました。現地で所管課や企業の説明を受けながら各施設を視察し、予算執行・補助が適正に行われているかを確認しました。

- ・ 自然光利用型の連棟ハウス整備事業
(合同会社なかなた農園)
- ・ 社会資本整備(橋梁長寿命化)
(万徳寺橋橋梁整備工事)
- ・ J R小浜駅周辺環境整備事業
(J R小浜駅トイレ)
- ・ 原子力災害対策施設整備事業
(庁舎裏 非常用発電機)
- ・ (庁舎4F フィルtringシステム)



合同会社なかなた農園



万徳寺橋

市政を問う！一般質問

平成30年第3回（9月）小浜市議会定例会

※一般質問の原稿は発言議員が自ら作成しています。

ページ	氏名	質問項目	ページ	氏名	質問項目
8	風呂 繁昭	1. 持続的な経済の実現について 2. 観光局の観光事業活性化とは 3. 西組重伝建について	9	牧岡 輝雄	1. 平成31年度重点・重要要望事項について 2. 障がい者福祉計画について 3. 第7期介護保険事業計画について
8	今井 伸治	1. 防災について 2. 公共交通について	10	三木 尚	1. 行政全般について 2. 学校行政について
9	能登 恵子	1. 女性活躍のための支援 2. 生活困窮者自立支援の状況と今後について	10	熊谷 久恵	1. 早期避難につなげるための取り組みについて 2. 児童・生徒の災害における安全教育について
9	佐久間 博	1. 八百比丘尼伝説の情報発信について 2. 小浜市の定住人口増加について			



風呂 繁昭
議員

問 市税を伸ばすために持続的な経済が非常に重要となります。「持続的な経済の実現で、事業者向けの景況調査の分析は。」

答 市内120社対象アンケートは4月と6月の結果では前期と比較して「やや改善」ドラッグストア出店の影響、来年の消費税増の需要減少への懸念等から先行き「不透明」な状況が続く。

問 U・イーターン促進のPRが必要である。

答 「ふるさと就職フェア」への案内状や、企業ガイドブック等、情報発信している。

問 子育て世代が安心して働ける環境は。

答 支援サービスとして延長保育、夜間保育、一時保育、病後児保育等、努めている。

減少し続けていた市税が、増に転じた！

問 若者が働きやすい環境を。

答 35歳未満のU・イーターン者が地元製造業に就職し1年間継続すると8万円交付する。又、奨学金利用の新卒者に5年間働くとき最大100万円支給の「奨学金返還支援制度」を設置している。

問 観光局が展開している古民家宿事業が民業圧迫では？観光局の役割とは？

答 周辺の既存宿泊施設とバッティングしないよう配慮し、地域の稼ぐ力を引き出し、広く関係者に理解と、協力を得ることが肝要であると認識している。

意見 防犯、防音、駐車場、地域への理解、情報発信等課題が多い。

問 西組重伝建旧丹後街道の電線美化はなぜできないのか？

答 整備方法、費用負担等、協議が整わず、今後継続して事業者と協力要請し早期に事業化できる様に努める。



今井 伸治
議員

問 自主防災組織の役割は

答 ひとたび大規模な災害が発生した時に、被害の拡大を防ぐためには、「公助」だけでは限界がある。

自主防災組織には、地域や近隣の人々が、互いに協力し合いながら、防災活動に組織的に取り組む役割を期待している。

問 避難活動とは

答 「避難」とは「災害から命を守るための行動」であり、災害時には、危険が高まる前に、早めに指定避難所などの安全な場所へ移動する「立ち退き避難」を行うことが重要である。

災害が身近に迫り、離れた避難所まで無理して避難すると、かえって自分の身が危険になる

災害から命を守るための行動を！

る場合には、上階に避難する「垂直避難」も有効な避難行動だが、土砂災害や浸水の深さによっては危険が増すことがある。

問 災害ごみの処理をどう考えているのか

答 災害ごみは仮に水害により100世帯の浸水被害があったとすれば、約400トンの災害ごみが発生すると予想される。これに伴い約400mの仮置き場が必要となる。今後「災害廃棄物処理計画」を早期に策定するが、それまでに基本的な事項として、仮置き場の想定や分別についても腐敗性廃棄物や危険物等の扱いも検討する必要がある。

問 学校における防災教育は

答 災害時に子どもそばにいつも親や大人がいるとは限らない。

いざというとき、自分で考えて判断し、行動できる児童生徒を育てる教育をする。

一般質問

〔問〕 ①建設業で男女雇用差が一番②市職員で産前産後が殆ど、今年1か月の育児休業業者あり、県内事業所では男性取得率3・7%③市女性職員復職は全員④福井県では、女性が出産・子育てしながらキャリアを継続できる雇用環境を創出する「子育てモデル企業」があり、県と一体となり支援していきたい。女性が出産を機に1年間20万人が退職しGDPベースで1兆2千億円もの損失、子育てしながらでも働ける企業を特



能登 恵子
議員

女性活躍のための支援に真剣になって！

集した求人情報を紹介する。⑤「チャレンジ支援・雇用創出促進事業」において女性の場合助成金を上乘せする制度あり。女性起業の多い先進地を研究する。

〔問〕 生活困窮者自立支援の状況と今後について、この制度が出来て3年目ですが、県下の中でも結果が出ていない。活動から見えてきた課題から解決を。

〔問〕 ①周知が問題②本人の同意のもと支援が基本で難しい③専門職の相談支援員の継続した雇用④関係機関との連携を密にする「支援会議」体制整備に努力

〔意見〕 各課の滞納者には困窮者が多い。未だ連携が取れていなかったのか。子どもの学習支援の利用が少ないのは、対象者が生活保護世帯のみ。困窮に至らないための事業などで、それ以前の世帯へも周知活用を願う。



佐久間 博
議員

八百比丘尼伝説で健康長寿小浜を発信！

恵を受けている本市の食を通じた健康づくりを発信していく有用なツールとして検討する

〔問〕 本市の人口自然減社会減の要因は
〔答〕 出生者数の減少と少子高齢化の進行。社会減はUターン者が減ったことによる
〔問〕 男女のUターンの傾向は
〔答〕 男性40%女性20%と女性が低い
〔問〕 求人求職の状況は
〔答〕 有効求人倍率1・77倍、職種別による雇用のミスマッチが生じている

〔問〕 合計特殊出生率は
〔答〕 全国1・44福井県1・65本市1・74と平均より高い
〔問〕 定住人口増加に向けた目標と政策は
〔答〕 2060年の人口二万七千人を目標。移住者、子育て層が定住し易い施設の充実など

〔問〕 市長の考えは
〔答〕 若狭湾等自然の恩



牧岡 輝雄
議員

第7期介護保険事業計画について

サービスが必要な方には居宅サービスによる支援を行っている。

〔問〕 第7期介護保険事業計画では新施設や増床の計画は無いが今後どう進めるのか伺う。
〔答〕 3年毎に見直しを行い、これまでの実績等、各介護サービスの見込み量を算出、市内の高齢者ニーズ調査・事業所への聞き取りを行い、介護保険事業計画策定委員会で審議策定する。今期は家族介護者の負担軽減と医療サービスの両方に対応できるように、通所介護サービスの定員増や看護小規模多機能型居宅介護の創設を優先した。

〔問〕 一人暮らし、高齢世帯への支援体制は。
〔答〕 民生委員と協力をして要配慮者の台帳を整備している。また、毎年度、各区に避難支援個別計画の策定を働きかけており、策定割合は約50%まで進んでいる。

〔問〕 現在、小浜市において総人口が減少する中、高齢者人口は増加と聞くが要介護認定者の状況について伺う。
〔答〕 29年9月末現在、認定者数は1730名でここ数年は減少傾向だが、今後は団塊世代の後期高齢への移行が始まり、認定者は増加すると考える。
〔問〕 特別養護老人ホーム待機者数が多いと聞くが現状を伺う。
〔答〕 申込み者数については約340名だが、入所の必要性や申込の重複を整理すると約40名と把握している。また、待機者への支援について、介護サービス事業所への通いで受けられる機能訓練や入浴サービス、身体介護や生活支援が受けられる訪問サービス等、医療



三木 尚
議員

○ 既存の小学校の洋式トイレが極端に少ない。男女各1カ所、早急に対策を打つべき。

○ 計画的に整備していきたい。

○ 新水道ビジョンの会議が始まっている。H22年制定の旧ビジョンと委員長とコンサルタント会社が同一である。5年間かけた地下水調査の結果、豊富な地下水があることが明らかに。なり塩水化の心配もなくなったのに旧ビジョンの計画の通り、58億円もかけて再度、浄水場の建設に向かうのか。地下水調査の結果は今回の新水道ビジョンに反映させるのか。58億円という概算事業費に拘束されるのか。

○ 委員会の総意で作成するもので同じ結果を意図するものではない。当然調査の結果は反映させる。この金額に拘束されない。

○ 市長答弁 市民にとって最善の選択をしたい。(H28年6月と同じ)

地下水調査結果をどう生かすのか

○ aクリーンセンター、b火葬場の取り組みについて。

○ 広域行政で取り組みaは環境アセスの地元同意が得られたところ。bは小浜市おおい町高浜町で選定を進めているが未定。

○ 小浜市はコンパクトシティのまちづくりを進めているが実態は市街地が空洞化している。安全面からも住居希望者に対する姿勢として良質な農村漁村地域も勧めるべきではないか。

○ 市街地、田園、山間、海岸のエリア別のまちづくり方針も定めている。また各エリアの特色を生かした健康的なスローライフを推進している。村部等への居住希望者に対しては丁寧な情報提供を行っていきたい。



熊谷 久恵
議員

○ 災害時における情報伝達手段の内容は。防災行政無線では、河川の増水や土砂災害など避難情報を発令する理由、発令内容、開設する指定避難所、幹線道路の通行止め区間などを配信。チャンネルOでは、河川の水位や開設した指定避難所、幹線道路の状況を配信。防災メールでは、発令した避難情報や開設した指定避難所等を配信。ホームページでは、発令した避難情報の内容や開設した指定避難所、幹線道路の状況等について配信している。

○ 小浜市防災のススメ2018保存版の内容は。

○ 「自分で守る自分の命・自然災害に対する事前の備え、とるべき避難行動を知る」を

○ 専門家の指導・助言を生かし、児童・生徒が具体的な場面に即して考える活動や体験的な活動を関連させながら、危険予測、危険回避能力の育成を図っていきたい。

早期避難につなぐ情報収集力と判断力

テーマに、自ら状況を判断し、避難行動がとれることをねらい作成。

○ 生命と財産を守るため、何が必要か。

○ 近年、大規模な災害発生時の、犠牲者の逃げ遅れが指摘されている。早期避難につながるために、早めに避難所を開設。災害発生危険時には、命を守ることを最優先し、躊躇なく避難勧告等を発令。有事の市の対応と、市民にとっていただく行動を伝え共通の認識を持つことが重要。先進的な取り組みや過去の災害の教訓からしっかりと学び、災害対応力強化に努める。

○ 児童生徒の危険回避能力育成が必要では。

○ 専門家の指導・助言を生かし、児童・生徒が具体的な場面に即して考える活動や体験的な活動を関連させながら、危険予測、危険回避能力の育成を図ってきたい。

北陸新幹線早期全線開業特別委員会 管外視察研修報告

日程 平成30年7月24日(火)
場所 敦賀市・越前市・福井市・あわら市

北陸新幹線敦賀開業に伴う、福井県内の(新)駅舎および駅前整備について、現地視察を行いました。駅前の開発計画ならびに概要、二次交通の整備等について説明を受け、活発な質疑や意見交換が行われました。



福井駅前施設 (福井市)



敦賀駅 (敦賀市)



芦原温泉駅前施設 (あわら市)



南越駅予定地 (越前市)

総務民生常任委員会 管外視察研修報告

視察日 平成30年7月5日～6日

視察先 三重県名張市、静岡県袋井市

三重県名張市

平成14年度に、地域のことは地域に任せようという考えのもと、「ゆめづくり地域交付金の交付に関する条例」を制定し、地域向けの補助金を廃止し、地域づくり委員会へ使途自由な一括交付金を交付しました。

平成21年度に区長制度を廃止し、区や自治会の基礎的コミュニティを整理し、地域の活性化、都市内分権を推進していきました。

平成28年度には公民館を廃止し、市民センターへ移行して地域づくり活動、生涯学習活動、地域福祉活動の拠点とスタートしました。

まちづくり協議会そのものの組織体制がしっかりしており、コミュニティセンター化が円滑に進められたように感じました。



名張市

静岡県袋井市

東日本大震災の発生を受けて、これまでの公民館の機能に加え、地域防災、高齢者支援や健康づくり、交流、にぎわいづくり事業の充実を図るため、市内の14公民館をコミュニティセンターに移行しました。

これまで、公民館職員は地域での採用だったが、コミュニティセンター化に伴い、市の採用となっている部分について、地域主導という観点から逆行しているように感じましたが、現在の小浜市と同じ状況であり、職員体制はこれから検証していかなければならない課題の一つだと実感しました。

多様な価値観を認め合い、互いに支え合う体制づくりなど、これからの取り組みに大変参考になりました。



袋井市

地域防災・原子力安全対策特別委員会 管外視察研修報告

視察日 平成30年7月11日～12日

視察先 茨城県ひたちなか市、茨城県常総市

茨城県ひたちなか市

平成30年3月29日に締結された東海第二発電所の稼働にかかる新安全協定の合意は、東海村村長の「原子力発電所の稼働は立地自治体のみでなく、周辺自治体同様の問題である」とした考え方が大きかったとのことでした。

当協定は法的根拠がないため、稼働について一部市村が了解しない場合等についての具体的な内容は協定書に明記されておらず不透明であると感じました。

広域避難計画などは未策定でしたが、安定ヨウ素剤をPAZ圏以外の住民に事前配布している点は広域避難時の実効性を重視する思いが感じられました。

小浜市としては、避難訓練などのソフト面に加え、早急に避難道路の整備を進める必要があると改めて感じました。



ひたちなか市

茨城県常総市

平成27年9月の関東・東北豪雨による災害経験を踏まえたハード・ソフト両面の取り組みは先進的でしたが、これは、災害発生後の検証作業、鬼怒川緊急対策プロジェクトの発足など、国・県・河川事務所・市の連携が行われた成果であると感じました。

防災対策で最も重要なことは「教育・訓練」で、完成度の高い計画策定はもちろんだが、計画どおりに遂行するためには日頃の教育・訓練を充実させることがポイントであるとのことでした。

小浜市も、いかに防災意識を向上させるかが、万一の際の命の有無を左右すると感じました。



常総市

編集後記

本格的な準備が始まって4年が経ち、「福井しあわせ元気大会」「福井しあわせ元気大会」が開会されました。期間中2度も台風が接近し、競技の開催が心配されましたが、小浜市においては大きな被害もなく、無事開催できたことを嬉しく思います。開催にあたり、ご尽力をいただきました関係者の皆様、本当にお疲れさまでした。

今年には自然災害が重なり、全国で甚大な被害が出ています。小浜市においても、台風20号、21号、24号では建物や人的被害があり、被災された方に心よりお見舞い申し上げます。防災については、小浜市議会としても、地域防災・原子力安全対策特別委員会が管外視察研修に行くなど、調査研究に力を入れております。

広報委員会では、今後も議会活動を分かりやすくお伝えできるように取り組んで参りますので、よろしくお願ひします。

広報委員 熊谷久恵

議会活動日誌

(主な活動のみ掲載しています)

7月

日曜	行事等内容	出席者
1 日	綱女顕彰祭 2018年原水爆禁止国民平和行進	議長・関係議員 議長
2 月	人魚の浜海水浴場浜開き	議長・関係議員
3 火	国道161号改良整備促進期成同盟会及び京都大原今津小浜間国道整備促進期成同盟会合同総会(滋賀県大津市)	議長
4 水	第183回若狭消防組合議会臨時会 議会報告会連絡会	関係議員 関係議員
5 木	「社会を明るくする運動」内閣総理大臣メッセージ伝達式 小浜市水防協議会 総務民生常任委員会管外視察(三重県名張市・静岡県袋井市)～6日	議長 議長 関係議員
9 月	奈良県葛城市議会行政視察受け入れ	議長
10 火	全員協議会 議会運営委員会、広報委員会	全議員 関係議員
11 水	地域防災・原子力安全対策特別委員会管外視察(茨城県常総市・ひたちなか市)～12日 北陸新幹線早期全線開業特別委員会	議長・関係議員 関係議員
13 金	小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会総会(滋賀県高島市)	関係議員
17 火	北川改修促進期成同盟会総会 鳥取県大山町議会行政視察受け入れ 国道162号大手橋西津橋改修促進期成同盟会総会	議長・関係議員 副議長 議長・関係議員
18 水	国道162号小浜南丹間道路整備促進期成同盟会総会(京都府南丹市) 小浜市・おおい町総合振興協議会 県道岡田深谷線改良促進期成同盟会総会 深谷相生間道路建設促進同盟会総会	議長・関係議員 全議員 全議員 全議員
23 月	嶺南市町議定会定例会	正副議長
24 火	北陸新幹線早期全線開業特別委員会管外視察(敦賀市・越前市・福井市・あわら市)	議長・関係議員
25 水	北川総合開発対策協議会総会(若狭町)	議長

27 金	森林基幹道若狭遠敷線開設促進期成同盟会総会(おおい町) 議会運営委員会	議長・関係議員 関係議員
30 月	福井県議会議長会県要望(福井市) 未来につながる「食のまちづくり」セミナー	議長 議長ほか
31 火	山梨県都留市議会行政視察受け入れ	議長

8月

日曜	行事等内容	出席者
1 水	若狭マリンピア2018花火大会	議長
2 木	総務民生常任委員会 小浜市・若狭町総合振興協議会(若狭町)	関係議員 全議員
4 土	2018 着まつり 宮川地区虫送り	議長・関係議員 議長・関係議員
8 水	各派代表者会議、議会報告会連絡会 嶺南市町議長会要望活動(福井市)	関係議員 議長
9 木	全員協議会	全議員
10 金	若狭広域行政事務組合行政視察(奈良県田原本町、斑鳩町)～11日 福井県議会議長会定期総会(福井市)	関係議員 正副議長
13 月	万灯祭	議長
17 金	公立小浜病院組合議会 嶺南広域行政組合議会代表者会議	関係議員 関係議員
18 土	福井県戦没者追悼式(越前市)	議長
20 月	議会運営委員会、北陸新幹線早期全線開業特別委員会	関係議員
21 火	全員協議会	全議員
22 水	議会報告会連絡会	関係議員
25 土	姉妹都市小浜市奈良市親善学童野球大会	議長
26 日	原子力防災訓練	全議員
27 月	本会議、予算決算常任委員会 総務民生常任委員会、広報委員会	全議員 関係議員
29 水	総務民生常任委員会、総務民生分科会	関係議員

9月

日曜	行事等内容	出席者
4 火	小浜市議会災害対策連絡会議	議長・関係議員
5 水	本会議、全員協議会 議会運営委員会、総務民生常任委員会	全議員 関係議員
6 木	本会議	全議員
7 金	予算決算常任委員会	全議員
8 土	国体ビーチバレーボール大会開会式	議長ほか
11 火	国体ビーチバレーボール大会閉会式	議長ほか
12 水	本会議、全員協議会 議会運営委員会	全議員 関係議員
13 木	産業教育分科会(決算)	関係議員
14 金	産業教育分科会(決算) 綾部・小浜・敦賀間国道編入並びに整備促進期成同盟会総会	関係議員 議長
15 土	「福井県年縞博物館」開館記念式典(若狭町) 福井県北陸新幹線建設促進同盟会総会	議長 議長
16 日	スポーツチャンバラ開会式 「放生祭」御旅所神事	議長 議長
18 火	総務民生分科会(決算) 森林・林業・木材産業活性化大会	関係議員 議長
19 水	小浜市老人クラブ連合会体育祭 総務民生分科会(決算)	議長 関係議員
20 木	予算決算常任委員会管内視察	全議員
25 火	北陸新幹線早期全線開業特別委員会	関係議員
27 木	公立小浜病院組合議会 広報委員会	関係議員 関係議員
28 金	予算決算常任委員会	全議員
29 土	国民体育大会「福井しあわせ元気国体」総合開会式	議長

議会報告会を開催します

どなたでもご都合のつく日時・会場にお気軽にお越しください。

日時 11月2日(金)
19時30分～21時

場所 雲浜、遠敷、小浜、西津の各公民館

日時 11月16日(金)
19時30分～21時

場所 今富、松永、内外海、中名田の各公民館

日時 11月8日(木)
19時30分～21時

場所 加斗、国富、宮川、口名田の各公民館

内容

- ①定例会の報告について
- ②空き家対策について
- ③意見交換